

## 施策評価調書(25年度実績)

				施策コード	Ⅱ-3-(1)
政策体系	施策名	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	所管部局名	企画振興部	
	政策名	ツーリズムの展開	関係部局名	企画振興部、教育庁	
				長期総合計画頁	101

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	地域資源の商品化	ツーリズム基盤の整備	九州新幹線全線開業など環境の変化に対応した新たな観光戦略の推進	アジアを中心とする海外からの観光客の誘致

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i	県内宿泊客数(人泊/年)	①②③	H19	4,749,470	5,100,000	5,222,290	102.4%	5,150,000	5,200,000					
ii	外国人宿泊客数(人泊/年)	①②③④	H19	326,380	370,000	382,440	103.4%	380,000	390,000					
iii	グリーンツーリズム宿泊数(人泊/年)	①②③	H19	11,188	21,500	22,978	106.9%	22,500	23,600					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	伊勢や出雲の遷宮や東京ディズニーランド30周年など、観光客の目が九州から遠ざかる状況において、大分県ツーリズム戦略を着実に推進するとともに、ターゲットとなる圏域ごとの特性を考慮した誘客やおんせん県おおいたの情報発信に取り組むことなどにより、目標を達成した。	達成
ii	達成	中国を除く東アジアから、タイやシンガポールなど東南アジアからの宿泊客が大幅に増加したことから、前年比33.3%の増加となり、目標を達成した。	
iii	達成	県内各地域の農山漁村ツーリズムの活動を支援し、受入態勢の強化を図り、また、県外セールス活動を行った結果、前年度実績を上回り、当該年度の目標を達成した。	

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・民間事業者のキャンペーンや関西圏域でのイベントなどに合わせて、大分県向け旅行商品を造成し、誘客策に取り組んだ。 また、駅から始まるミニツアーなど、地域の観光資源を磨き、商品化につなげるための事業も積極的に実施した結果、県内宿泊者数が増加した。
②	・平成22年度に設立されたボランティアガイド協議会の拡充に努め、登録団体数及び団体会員数とも、24年度と同じ団体数及び会員数を堅持した。 ・「地域の文化財魅力度アップ事業」等において「文化財の修復現場公開」を11件実施、5,183人が参加し、文化財修復が観光振興の観点から新たな魅力として発信することができた。
③	・官民協働で「大分県ツーリズム戦略」を策定し、「日本一のおんせん県おおいた」のキャッチフレーズで全国に向けての情報発信を行った結果、全国から注目を集めることができた。
④	・近年増加している香港や台湾でのPRやセールスを強化するとともに、査証免除により訪日観光客が増加しているタイでのPRやセールスに本格的に着手した。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	おおいたジオパーク推進事業	64,863	継続	86
②	ツーリズム戦略総合対策事業	135,777	継続	12
	地域の文化財魅力度アップ事業	30,507	継続	252
③	国内圏域別誘客促進事業	136,793	継続	13
④	海外誘客促進事業	74,123	継続	14

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展」プラン2005推進委員会(H25.7.26) ・海外からの観光客の受け入れだが、今年度に入って流れが変わってきている。中韓からASEANが増えている。こちらの受け入れ体制を整えること。</p>	
--	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度に策定した大分県ツーリズム戦略の主旨に沿って、官民や地域の連携を深めながら、積極的に事業を推進する。</li> <li>・圏域別、目的別にターゲットを絞り込み、エージェンต์へのセールスや効果的な情報発信などに取り組む。</li> <li>・東九州自動車道開通、デスティネーションキャンペーンなどの機会を活かし、着実な誘客促進を図る。</li> <li>・外国語対応等、外国人観光客の受入態勢の整備を促進する。</li> </ul>